

令和2年度 学校評価

<p>本年度 重点目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との好ましい人間関係づくりを行い、失った教職員への信頼回復に努める。 ・工科高校への学科改変に向け、地域や中学校に情報発信を行い、本校への理解を深める。 ・ホームページなどを通して、家庭・地域に向けた情報発信が積極的に行い、地域から必要とされる学校づくりを進める。 ・基本的な生活習慣の確立を図り、身だしなみの定着や自ら進んで挨拶ができるよう指導する。 ・地域イベントに生徒を積極的に参加させるなど、自ら進んで学ぶ姿勢を養う。 ・基礎・基本を大切に、分かりやすい授業を実践するなど、授業改善に取り組む。 ・各分掌業務の一層の見える化を図り、協同して業務にあたるなど、在校時間の適正化や多忙化の解消に努める。 ・安全衛生委員会など既存の組織を活用しながら、健康障害防止や業務の改善に向けた取組を行う。 		
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携を密にする。 ・防災教育を充実し、生徒、職員の防災意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携体制を整え、PTA参加行事の一層の充実をする。 ・防災訓練を通じ、避難方法等を理解させるとともに、常日頃から防災を意識するように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メール配信等を利用し、細やかな情報発信を心がける。 ・生徒、職員ともに防災に関する情報を発信する。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣を定着させ、基礎学力の向上を図る。 ・次年度の学科改編に合わせた新教育課程の編成を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業に臨む上で、予習や復習の大切さを啓発し、基礎学力の向上につなげる。 ・家庭における学習習慣を確立、定着をさせる。 ・産業界のニーズを踏まえた学科改編の意図を理解し、それに合わせた教育課程の編成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業を大切にさせるとともに、学習内容の深い理解のため、適度に課題を課し、予習や復習といった学習習慣を身につけさせる。 ・家庭の協力を得ながら、担任・学年・教科・学科と家庭が連携して、生徒の学習習慣を確立、定着をさせる。 ・新教育課程に合わせて変更される科目について、そのねらい・内容等を吟味し、学科の特性に合わせた科目選択と指導計画を進める。
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣を確立させるため、さまざまな読書啓発活動を行う。 ・魅力ある図書館にするために、環境整備や広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書オリエンテーション、読書感想文コンクール、職員図書委員会、生徒図書委員会などを通して、生徒に読書の楽しさが伝わるような活動をする。 ・図書室の清掃、魅力的な図書のディスプレイ、新刊図書の充実、図書館だよりや図書館報の発行などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、読書とあまり縁のない生徒にも読書の楽しさが伝わるような、活動を工夫する。 ・図書室が魅力的な場所になり、多くの生徒が来館するような工夫をする。
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のルールやマナーの遵守、規範意識の確立。 ・いじめの早期発見と適切な事案対処。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活動を通して、マナー、モラルを意識させ、社会の一員としてのルールの重要性と遵守を自覚させる。 ・いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生徒に配慮した生徒指導を行い、生徒の自己指導能力の向上を目指す。全職員で問題点の改善に努めるとともに、家庭とも連携をして指導にあたる。 ・教職員間で情報の共有化を図り、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。
<p>特活部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校（生徒会）行事への積極的な参加を促す。 ・福祉・ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の部活動の定着及び活性化を図る。 ・生徒会行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。 ・福祉・ボランティア活動を通して、地域の人々との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な部活動への参加、大会等への出場を促すことで、部活動の活性化を図る。 ・生徒会行事の運営等を生徒会執行部および関連する生徒委員に行わせ、生徒主体の生徒会行事としていく。 ・校内外でのボランティア活動に積極的に参加するよう生徒に促す。

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全般を通して正しい職業観・勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任を柱として、学科や職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、ミスマッチのない進路指導をする。 各種情報を活用しやすい形でデータ作成し、担任や学科を通して、1年次からも進路情報を把握できるようにする。また、外部に向けての情報提供が進められるよう、データの見直しと整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して事業所見学や面談などを通して、進路指導に生かせる情報を得られる機会を提供できるようにする。 情報を全教員と共有しやすいように、ネットワークの利用方法やデータの形式を工夫する。校内サーバおよびホームページにおける進路情報について整理・見直しをさらに進め、必要な情報がスムーズに伝達できるようにする。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図り、自主的に健康管理が行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団、個別の保健指導を行い、健康に対する意識の向上を図る。 相談活動を充実させ、精神の健康問題の早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診の結果により、治療等の必要な生徒が早めに医療機関を受診するように促していく。 担任、家庭、関係職員と連携しながら、個に応じた支援方法を考え、早期に対処できるようにする。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、競技会を通して、生徒の学ぶ力と意欲向上を図る。また、その成果を情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、検定試験、競技大会などへの積極的な挑戦を促す。 中学生体験入学の実施。 ホームページをタイムリーに更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な検定試験の希望調査から試験日までの日程など、担任や関連職員との情報交換を適切に行う。 中学生体験入学を円滑に進め、中学生への情報発信を積極的に行う。 生徒の活躍や頑張りを、ホームページを通して随時情報発信する。
機械科	<ul style="list-style-type: none"> 安全な環境のもと、工業人としての態度及び基礎的な知識・技能を定着させる。 家庭や地域に向け情報発信を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習室等の管理が見える化し、生徒に向き合った評価方法を行う。また、資格取得に意欲的に取り組ませる。 生徒の活躍を積極的にホームページに掲載し、情報発信を幅広く行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導と評価の一体化を図り、生徒の様子を常に把握し、きめ細かい指導を行う。 教員相互の研修・研鑽を積極的に行い、授業力・指導力の向上を図る。 生徒の活躍は、随時ホームページに掲載する。
電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> 情報、ロボット、技術に対する深い学び。 広報活動の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> Society5.0を見据えた授業や校外の取組を積極的に実践する。次年度の工科高校のPRを含めた情報発信をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供を積極的に行い、外部イベントへ参加させ、地域貢献を体験させる。 ホームページへの掲載、更新を随時行う。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 確かな資質・能力を育む。 家庭や地域に対する情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を用いた授業を通し、判断力・表現力の向上を図る。また、大工技能士、施工技術者試験など専門の資格取得を目指す。 ホームページを通して建築科の活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師の派遣を有効利用し理解と興味関心の向上に繋げる。 工科高校のPRを含めた情報発信をする。
環境工学科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着と資格取得の充実を図る。 地域へ向けた環境工学科（環境科学科）のPR活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を引き出すような授業を行うとともに、課題等の提出期限の厳守を徹底する。 資格検定の年間計画に沿って、生徒に資格取得とともに補習を実施し、合格率の向上を目指す。 校外イベント等への積極的に参加をするとともに、ホームページによるPR活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を定着させるためにノート・プリント等の指導や課題の提出について指導していく。 環境工学科の資格取得について、資格の必要性やメリットについてPRをして、受験者数と合格者数の向上をさせる。 生徒が自ら積極的に参加し、工業高校生と地域とのつながりを充実させる。活動内容をホームページに掲載し、PR活動を行う。

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
3 年 学 年 会	<ul style="list-style-type: none"> 進路実現と社会人に向けての人間力の向上。 基本的な生活習慣を確立させ、礼節を重んじる態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路を実現させるために自己確認と事業所の研究を通して、社会人として生きていく人間力を向上させる。 学校生活において、良好な人間関係を構築し、規範の意識を高め、集団生活での規律を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職試験等を通して、その成果を発現させる。 自己確認では、長所を生かし、短所を補うようにさせる。 事業所研究では、必要とされる要素を確認し、到達目標を意識させる。 コミュニケーション能力、自己コントロール能力の充実に努める。 元気の挨拶、時間や期限を守ることの大切さを示す。
2 年 学 年 会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着。 礼節を重んじた行動。 進路実現に向けてのキャリア教育の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動を推奨し、時間を守り、先を考えた行動ができる生徒を育成する。 挨拶の習慣付けと身だしなみの向上を図る。 自己分析を通して、将来像を考えさせ、進路実現のために何をしたらよいか思考を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守ることの大切さを理解させる。また時間や約束を守れない生徒に対してはメモを取ることを推奨し、習慣付けさせる。 挨拶はコミュニケーションの第一歩であることを説明、理解させる。 進路希望調査の際には事前指導を通じて、生徒の考えを深めさせる。
1 年 学 年 会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動や自ら挨拶することを心掛けさせる。 各教科学科と連携を図り、提出物の有無を共有する。また、健康観察などから気になる生徒には迅速かつ密な連絡を家庭と図る。 各学科等と連携を図り、全生徒に資格取得や部活動、ボランティア等、目標をもって取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な人間関係を築く為にも挨拶や時間を守ることの重要性を確認させる。 課題の遅れなどから不登校にならないよう、多くの職員が情報の共有を図り、生徒一人一人を見守っていく。 各種資格取得を通して、ものづくりに興味関心が持てるよう、指導にあたる。 部活動やボランティア活動に積極的に参加するように、その意義を伝えるなどの指導にあたる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着及び学習習慣の確立。 生徒の社会人としての規範意識・マナーの向上、正しい身だしなみの定着。 進路意識の向上及び資格取得への積極的な取組。 	